

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 設立会議

【配布資料一覧】

- 資料 1 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事次第
 - 資料 2 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 出席者名簿
 - 資料 3 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 設立趣意書
 - 資料 4 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約（案）
 - 資料 5 推進協議会の進め方について（案）
 - 資料 6 徳山ダム建設事業の概況について
 - 資料 7 ビジョン取組の試行状況について
 - 資料 8 揖斐川水源地域ビジョンの呼称について（案）
 - 資料 9 ビジョン推進にかかる今後のスケジュール（案）
- 別冊. 揖斐川水源地域ビジョン策定書

資料 1

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 設立会議

日時：平成20年2月13日（水）14:00～16:00

場所：グランパレホテル 4F 『櫂・桂・楠』

議 事 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 設立趣意及び規約について

(2) 協議会の進め方について

(3) 報告事項

①徳山ダム建設事業の概況について

②ビジョン取組の試行状況について

(4) ビジョンの呼称について

(5) 今後のスケジュールについて

(6) その他

4 閉 会

資料 2

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 設立会議 出席者名簿

分類	区分	氏名	所属	備考	
各種団体	関連地元事業者	新井 弘文	財団法人いびがわ 理事長		
		森 泰朗	揖斐郡森林組合 組合長		
	関連団体	伊藤 亮一	西美濃広域観光推進協議会 事務局長	欠席	
		小野 道雄	西美濃広域観光推進協議会 事務局長代理	代理	
		大口 徹	揖斐川町商工会 事務局長	欠席	
		小里 幸男	揖斐川町商工会 事務局次長	代理	
		箕浦 之治	大垣市商工会議所 交流産業委員長		
		渡辺 信行	NPO揖斐自然環境レンジャー 理事長		
	関連企業	河瀬 和行	イビデン(株) エネルギー統括部 グループマネージャー		
		嶺山 秋夫	中部電力(株)岐阜支店 岐阜電力センター 所長		
関係行政機関	国土交通省	高橋 洋一	中部地方整備局河川部 広域水管理官	欠席	
		上野 広志	中部地方整備局河川部河川管理課 課長補佐	代理	
		高野 匡裕	中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 所長	欠席	
		荒川 泰二	中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 調査課長	代理	
		野村 修司	中部地方整備局 横山ダム工事事務所 所長		
	林野庁	新田 善勝	中部森林管理局 岐阜森林管理署 次長	欠席	
		立入 純夫	中部森林管理局 岐阜森林管理署 流域管理調整官	代理	
	関係地方公共団体	清水 晃	岐阜県県土整備部 河川課長		
		富田 武司	西濃振興局 揖斐事務所長		
		原 敏郎	揖斐土木事務所長		
		野村 民尾	揖斐農林事務所長		
		相徳 知幸	愛知県地域振興部 土地水資源課長		
		水谷 一秀	三重県政策部 土地・資源室長		
		園部 照雄	名古屋市上下水道局技術本部 水道計画課 主幹		
	流域市町代表	川西 光照	大垣市 技監		
	水源地域自治体		宗宮 孝生	揖斐川町長	
	ダム事業者		柴田 和昭	水資源機構中部支社 建設部 次長	
			自閑 茂治	水資源機構徳山ダム建設所長	

(敬称略、各種団体委員氏名は各区分毎に五十音順)

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 設立趣意書

21世紀のダム事業・ダム管理は、従来から求められていた治水、利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水環境等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、豊かな自然環境、水辺環境や地域の伝統文化等を国民が広く利用できるよう、ハード、ソフト両面からの総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが求められています。

このため、徳山ダムの完成を契機として、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域においても、「水源地域ビジョン策定要綱」（国土交通省平成13年4月）に基づき、学識経験者、関係行政機関、流域関係者等の理解と協力を得ながら、水源地域の保全と活性化を積極的に推進することを目的に、「揖斐川水源地域ビジョン」を平成19年2月に策定しました。

「揖斐川水源地域ビジョン」では、公有地化される徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るための取組方策と推進方策について定めています。

この「揖斐川水源地域ビジョン」の着実な実施を目指すためには、流域住民、NPO法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって推進することが不可欠であり、これらの関係者が各々の役割を果たし、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的として、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」を設立するものです。

資料 4

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約（案）

（名称）

第 1 条 本会は、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という）と称する。

（目的）

第 2 条 協議会は、揖斐川水源地域ビジョンに基づき、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るため、流域住民、NPO 法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって、個々の役割を果たすとともに、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的とする。

（事業）

第 3 条 協議会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンに位置付けた施策の実施状況の確認
- (2) 着実かつ効率的なビジョン推進のための協議・調整
- (3) (仮称) 生命の水と森の活動センターの事業内容に関する確認や助言・指導及び活動協力
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

（組織等）

第 4 条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。但し、協議会の中で了解を得たうえで、運営上必要な委員の増減を図ることができる。

- 2 組織の改編等により委員の組織及び職名等が変更となった場合は、組織及び職名等を新たな組織及び職名等に読み替え、その職に就いた者が、協議会の委員を継承する。

(協議会の招集及び成立)

第5条 協議会は、事務局がこれを招集し、揖斐川町長が議長を務める。

2 協議会は、委員の過半数の出席を持って成立する。

3 委員がやむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

(協議会の開催)

第6条 協議会は、原則として年1回開催する。その他、必要に応じて適宜開催することができる。

(公開)

第7条 協議会は、原則として公開とする。

2 ただし、議長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、揖斐川町に置くこととし、事務局の運営に関し必要な事項については、独立行政法人 水資源機構 徳山ダム建設所が協力して実施するものとする。

(雑則)

第9条 本規約に定めのない事項については、協議会において別途定める。

付則

この規約は、平成 年 月 日から施行する。

(別表)

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 委員名簿

分類	区分	氏名	所属	
各種団体	関連地元事業者	新井 弘文	財団法人いびがわ 理事長	
		森 泰朗	揖斐郡森林組合 組合長	
	関連団体	伊藤 亮一	西美濃広域観光推進協議会 事務局長	
		大口 徹	揖斐川町商工会 事務局長	
		箕浦 之治	大垣市商工会議所 交流産業委員長	
		渡辺 信行	NPO揖斐自然環境レンジャー 理事長	
	関連企業	河瀬 和行	イビデン(株) エネルギー統括部 グループマネージャー	
		嶺山 秋夫	中部電力(株)岐阜支店 岐阜電力センター 所長	
関係行政機関	国土交通省	高橋 洋一	中部地方整備局河川部 広域水管理官	
		高野 匡裕	中部地方整備局 木曾川上流河川事務所長	
		野村 修司	中部地方整備局 横山ダム工事事務所長	
	林野庁	新田 善勝	中部森林管理局 岐阜森林管理署 次長	
	関係地方公共団体	清水 晃	岐阜県県土整備部 河川課長	
		富田 武司	西濃振興局 揖斐事務所長	
		原 敏郎	揖斐土木事務所長	
		野村 民尾	揖斐農林事務所長	
		相徳 知幸	愛知県地域振興部 土地水資源課長	
		水谷 一秀	三重県政策部 土地・資源室長	
		園部 照雄	名古屋市上下水道局技術本部 水道計画課 主幹	
	流域市町代表	川西 光照	大垣市 技監	
	水源地域自治体		宗宮 孝生	揖斐川町長
	ダム事業者		柴田 和昭	水資源機構中部支社 建設部 次長
		自閑 茂治	水資源機構徳山ダム建設所長	

(敬称略、各種団体委員氏名は各区分毎に五十音順)

資料5

推進協議会の進め方について（案）

推進協議会はビジョンに位置づけた全ての施策について、実施状況の確認及び着実かつ効率的な推進に向けた協議・調整を行うことを目的としているが、施策によっては、それぞれの関係機関が個別に実施される項目や、実施に向けて関係機関内外で調整を要する項目があることから、当面、中核プロジェクトとして位置づけた施策及び、推進協議会等による支援・協力等を得ながら「中核プロジェクト」を主体的に推進する「(仮称) 生命の水と森の活動センター」の事業内容を中心に推進に向けた協議・調整を行うこととする。

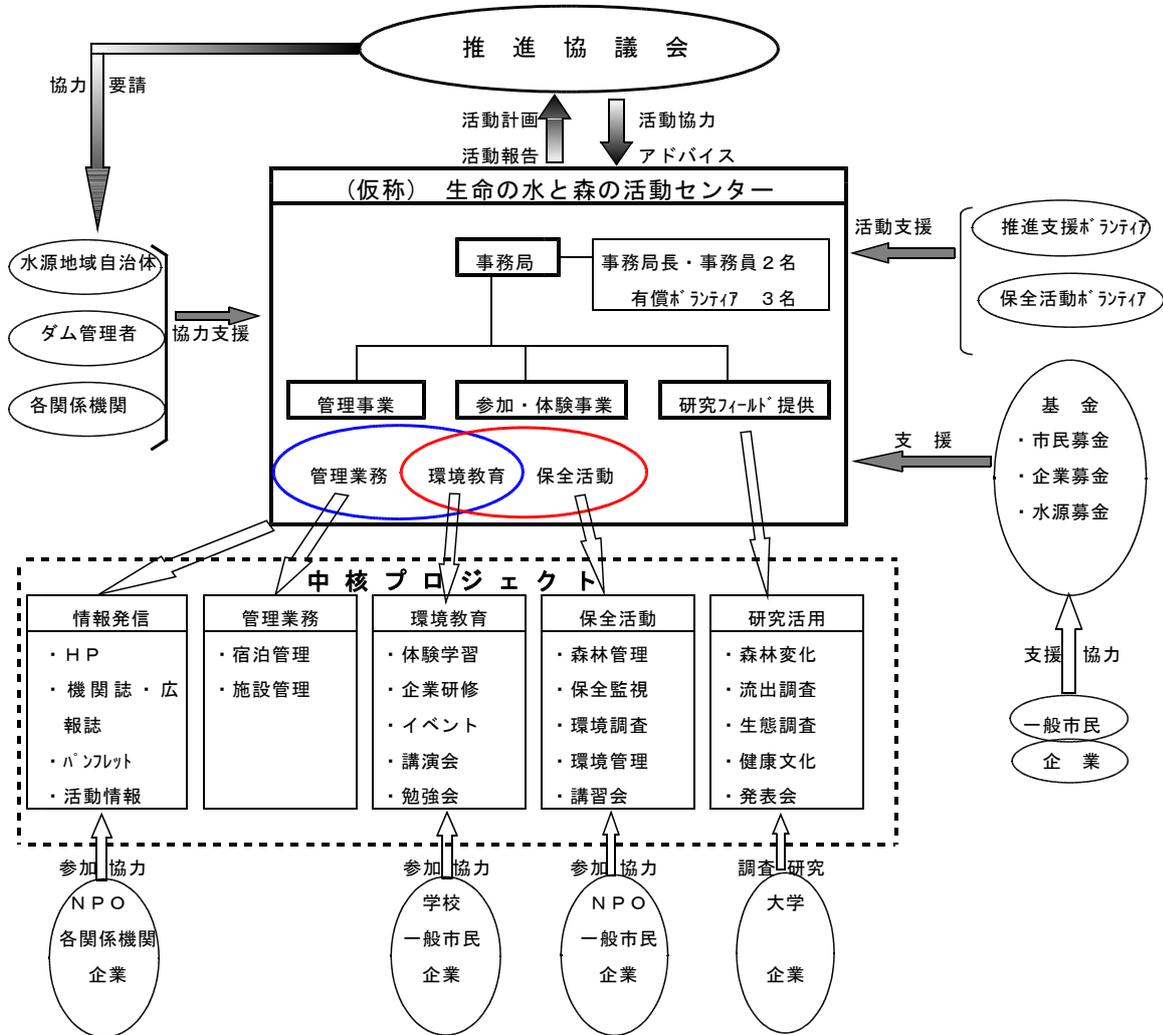
1) 中核プロジェクトについて

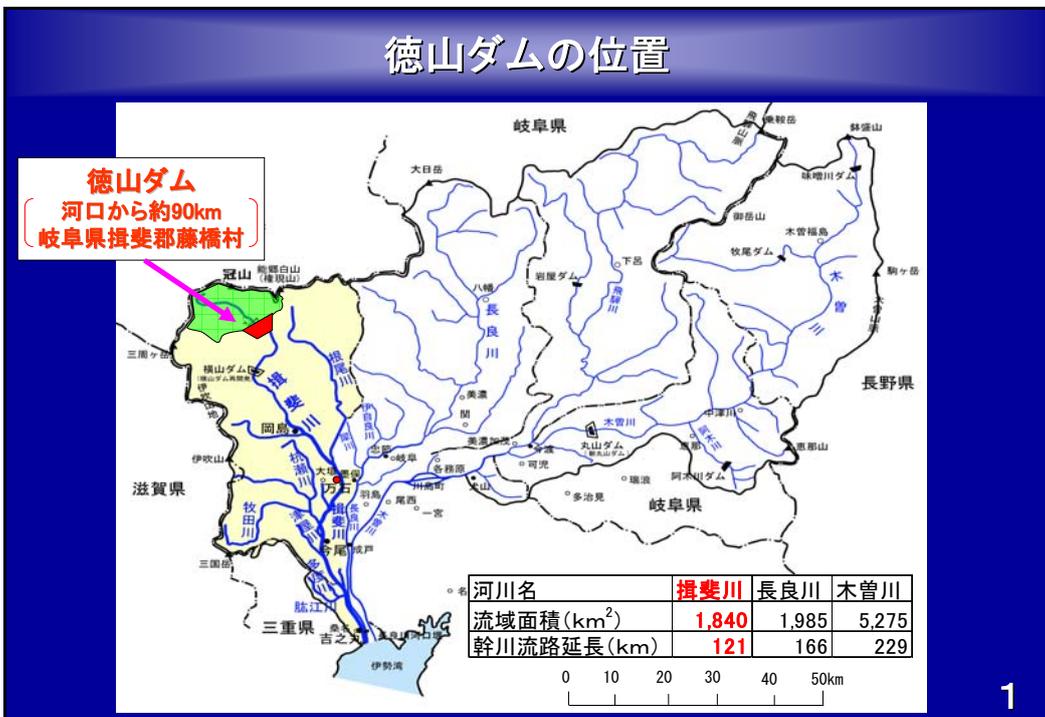
中核プロジェクトに関しては、現在、これを主体的に推進する活動センターの設立準備中であるため、活動センターの設立及び平成20年度の事業計画（案）については、次回の推進協議会において報告及び提案を行い、進め方等についてアドバイスをいただくとともに、推進について具体的な協力を要請していく。

2) 中核プロジェクト以外の施策について

各施策の具体の実施結果等について、各機関及び団体から事務局へ可能な範囲の情報提供をいただき、当面、資料7に示すように、各施策毎の実施状況を作成し協議会で紹介していくこととする。

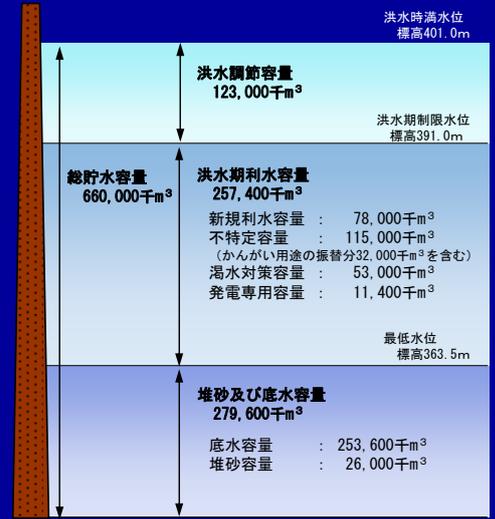
新たな推進組織による「中核プロジェクト」の推進（イメージ）





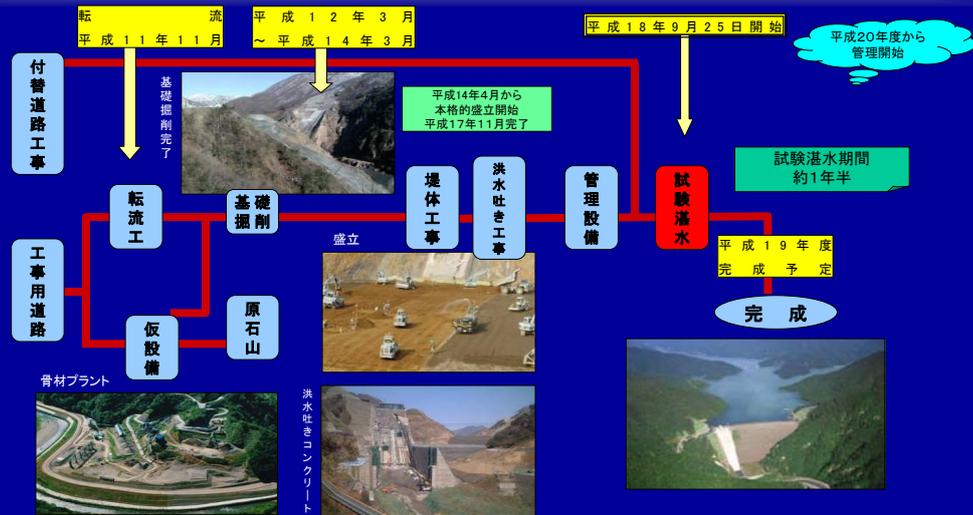
徳山ダムの諸元

ダム	
位置	岐阜県揖斐郡揖斐川町
河川	木曾川水系揖斐川
型式	中央遮水壁型ロックフィルダム
堤高	161.0m
堤頂長	427.1m
堤体積	約1,370万m ³
貯水池	
集水面積	約254.5km ²
湛水面積	約13km ²
総貯水容量	6億6,000万m ³
有効貯水容量	3億8,040万m ³



総貯水容量: 6億6,000万m³
 ⇒ 全国第一位 浜名湖の約2倍!
堤高: 161m
 ⇒ 全国第三位 名古屋城の3.3倍!
湛水面積: 約13 km²
 ⇒ 全国第三位 諏訪湖とほぼ同じ面積!

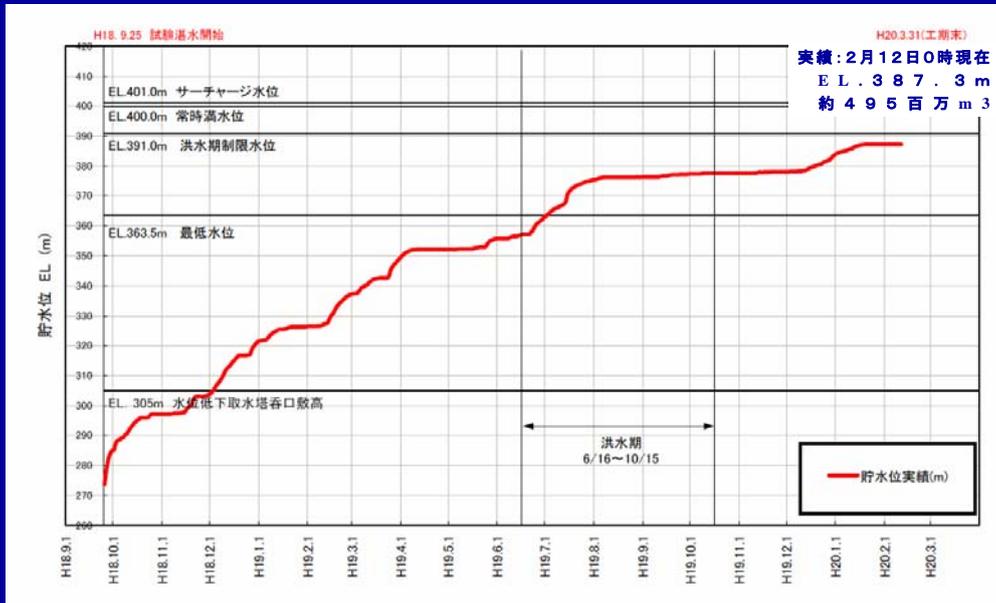
ダム建設工事の流れ



試験湛水とは・・・

ダムの本格的な運用に移行する前に、貯水池の水位を上昇および下降させて**ダム、その基礎地!**及び貯水池周辺の斜面の安全性を確認する行為。

試験湛水実績グラフ



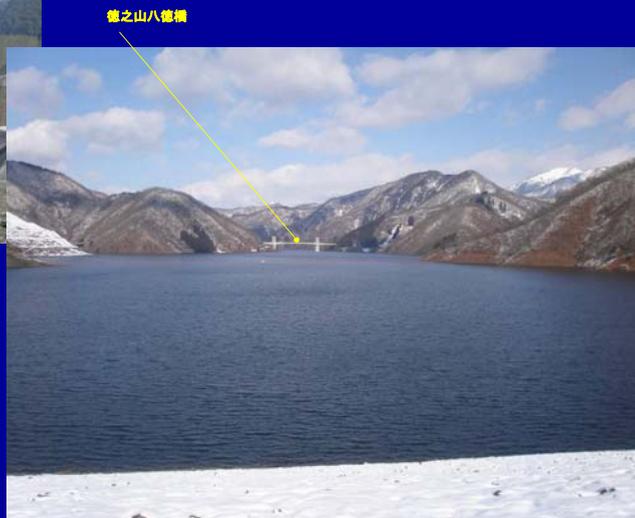
4

徳山ダム湛水状況(ダム本体から上流を望む)



撮影日: 平成18年9月26日

平成20年2月12日現在の貯水状況
 湛水標高: EL. 387.3m
 湛水面積: 約10.9km²



撮影日: 平成20年2月7日

5

試験湛水状況写真（堤体から貯水池上流を望む）

<p>【平成18年9月25日】 試験湛水開始当日</p>  <p>貯水池：EL. 284.97m 総貯水量：7,000㎥</p>	<p>【平成18年10月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 287.22m 総貯水量：17,000㎥</p>	<p>【平成18年11月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 289.77m 総貯水量：26,000㎥</p>	<p>【平成18年12月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 292.22m 総貯水量：35,000㎥</p>	<p>【平成19年1月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 294.47m 総貯水量：44,000㎥</p>
<p>【平成19年2月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 326.43m 総貯水量：74,000㎥</p>	<p>【平成19年3月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 337.22m 総貯水量：123,000㎥</p>	<p>【平成19年4月4日】</p>  <p>貯水池：EL. 350.91m 総貯水量：174,000㎥</p>	<p>【平成19年5月3日】</p>  <p>貯水池：EL. 357.20m 総貯水量：181,000㎥</p>	<p>【平成19年6月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 355.78m 総貯水量：225,000㎥</p>
<p>【平成19年7月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 362.52m 総貯水量：275,000㎥</p>	<p>【平成19年8月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 375.32m 総貯水量：278,000㎥</p>	<p>【平成19年9月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 376.91m 総貯水量：339,000㎥</p>	<p>【平成19年10月2日】</p>  <p>貯水池：EL. 377.20m 総貯水量：394,000㎥</p>	<p>【平成19年11月7日】</p>  <p>貯水池：EL. 377.52m 総貯水量：396,000㎥</p>
<p>【平成19年12月1日】</p>  <p>貯水池：EL. 378.12m 総貯水量：402,000㎥</p>	<p>【平成20年1月2日】</p>  <p>貯水池：EL. 384.31m 総貯水量：453,000㎥</p>	<p>【平成20年2月7日】</p>  <p>貯水池：EL. 387.27m 総貯水量：459,000㎥</p>		

6

揖斐川水源地域ビジョン策定会議

- ・徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「揖斐川水源地域ビジョン(仮称)」を策定することを目的として、「揖斐川水源地域ビジョン策定会議」を設置し、平成17年10月に第1回策定会議を実施。
- ・平成17年11月に第2回策定会議・現地視察を実施。
- ・平成18年3月に第5回策定会議を実施し、中間とりまとめを行った。
- ・平成19年2月に第9回策定会議を実施し、ビジョン策定。



第9回策定会議



現地視察

7

「揖斐川水源地域ビジョン」の概要

水源地域の特性

- 急峻な地形と多雨な気候の下、豊かな自然環境を形成
- 縄文時代からの歴史・文化をもち、当時から北陸方面・近畿方面と交流。全村移転後の公有地化事業により、水源林としての保全や新たな交流が可能
- 教育、旅行、NPO、研究関係者等の専門家から水源地域の様々な活用について期待

ビジョン策定の背景・目的

- 日本一のダム湖と広大な水源林が織りなす「水と森の自然博物館」が出現
- ダムが担う新たな機能と水源地域の水と森を、流域全体の財産として捉え、広域の人達による保全と利活用を図っていくことを基本的な使命
- このような中で、水源地域の水と森を守る重要性への認識等を深めつつ、流域みんなの思いが相互に支え合う流域文化の創造に向けた取組を展開し、自立かつ持続的な活性化を目指す

目標像

日本のどまん中を支える日本一の水と森が織りなす流域文化の創造

— みんなで守り、学び、やすらぐ、日本一元気な流域を目指して —

基本方針

- (1) 揖斐の防人・中部の水脈としての上流域の環境を、みんなで守り育てる
- (2) 自然の敷智や風土など水源地域そのものを「水と森の自然博物館」として、学び、やすらぐ
- (3) 流域ぐるみで協働し、流域文化の創造と展開を図る

取組方策

- (1) 日本一のどまん中を支える大切な自然環境の保全 
- (2) 日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぐ場として活用 
- (3) 広域で継続的な交流・連携の推進 
- (4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興 
- (5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進 

推進方策

- (1) 徳山ダムに係る上下流の関係者が連携しながら取り組む
 - (2) 地域住民グループやNPO法人等の推進の担い手を育成する
 - (3) 実施可能なものから順次、ビジョンの実現に向けた取組を進める
- 【推進体制等】
- 平成19年度：揖斐川水源地域ビジョン推進準備会
- 平成20年度以降：揖斐川水源地域ビジョン推進協議会
- 徳山ダム供用開始：「試行」の取組
- 生命の水と森の活動センター
- 水源地域ビジョンの普及な推進

徳山会館(揖斐川町)

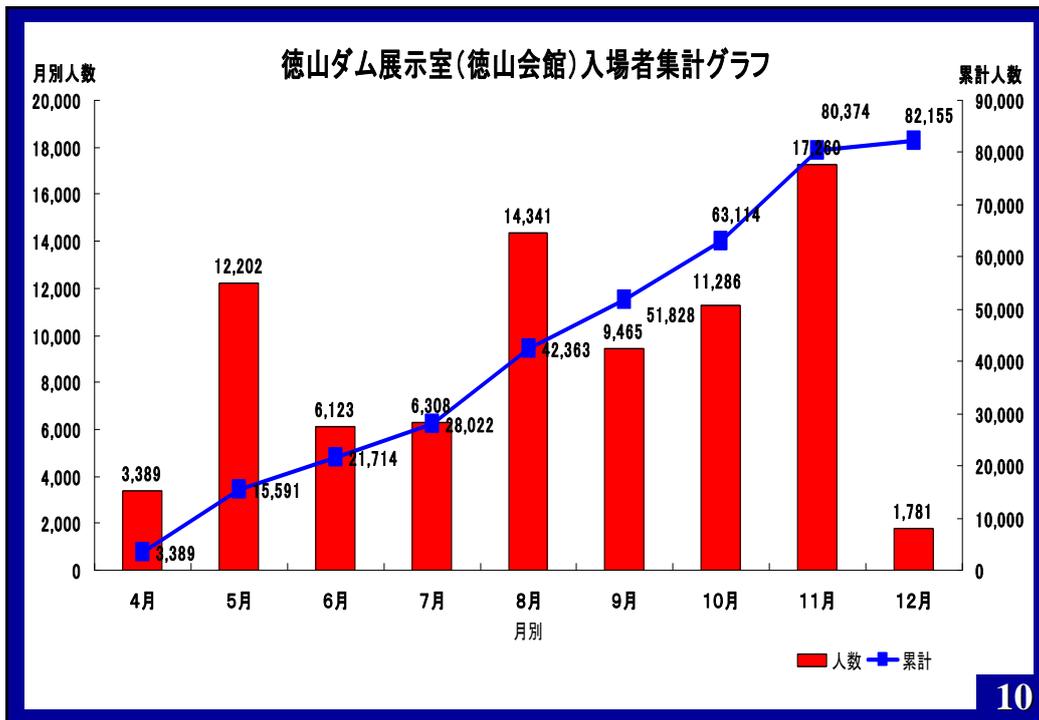
・ 揖斐川町徳山会館は、徳山ダム建設事業により全村移転された徳山村の皆様方の懐旧の場並びに揖斐川上下流域住民の交流の場を確保することを目的に建設され、平成19年4月26日から利用されています。



徳山会館



徳山村・徳山ダムに関する展示物視察状況



事業へのご理解をいただくために

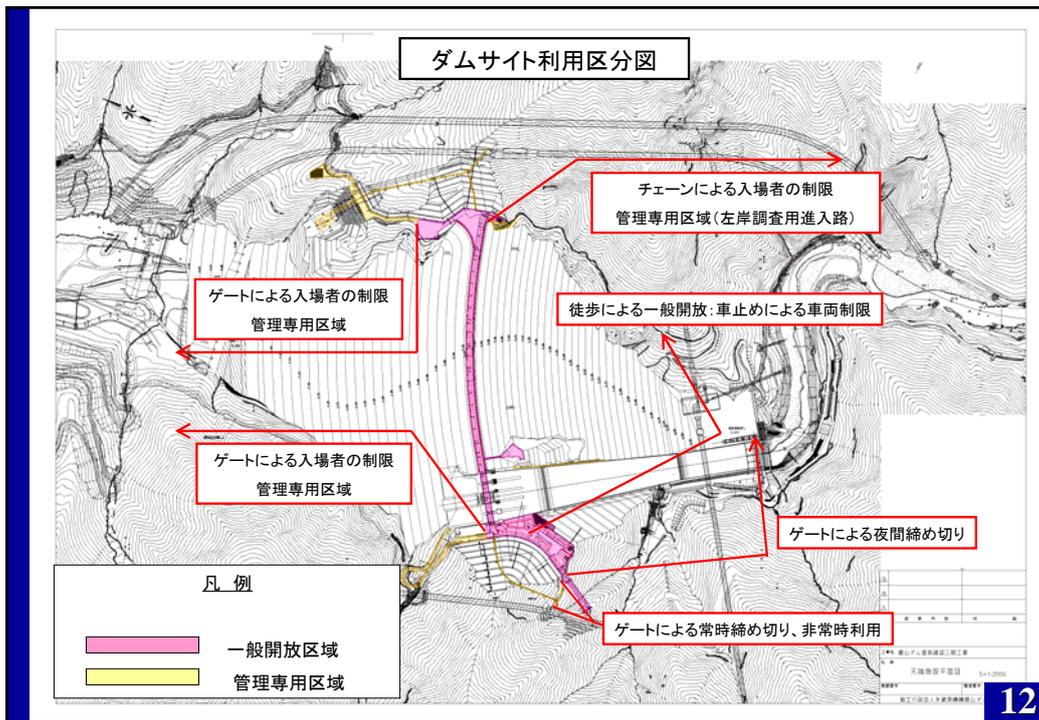
徳山ダムでは広く住民の方々に現地見学を呼びかけており、多くの方々にダム工事現場を見学いただいている。見学案内は休日を含めて、徳山ダム建設所職員全員が案内を行っています。

平成18年度 徳山ダム視察者内訳

内訳	割合
一般	74%
海外	0%
学校関係	6%
関係機関	3%
議員関係	2%
業者関係	5%
国機関	4%
地方機関	4%
地元住民	4%
地権者	0%

平成18年度 26,936人(シャトルバス)
平成19年度 11,432人(シャトルバス) 82,155人(徳山会館徳山ダム展示室入場者数) 566人(日帰りバスツアー客)

11



右岸天端広場コンセプト

植栽やモニュメントによる視線誘導
植栽の隙間からダムを見せることによる期待間の醸成

コンセプト: #1 森と湖の表現
#2 徳山ダムへの理解を深める

演出方法: 視線の制限と誘導 = 印象的な景観演出

**#1 周辺植物の再現
で森を表現**
ミズナラ、コナラ、ブナ、トチノキ、ドウダンツツジ

ミズナラ コナラ

**#2 建設を象徴する
モニュメントの設置**
建設機械部品を展示することで巨大建設事業を実感する

建設モニュメント

説明看板

#2 説明看板の設置

- ダム本体前への設置
- 発見しやすく魅力ある場所への設置

①ダムの目的 ②ダムの大きさ ③ダムの構造 ④工事の歩み ⑤施工の工夫点 ⑥ダム管理

13



ビジョン取組の試行状況について

外来魚移植（密放流）の禁止看板設置

施 策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施 策 項 目：自然生態系の保全

具体名施策：外来種の防除対策に取り組む

設置者：独立行政法人水資源機構 徳山ダム建設所



**特定外来魚を貯水池や川
に絶対に放流しないで！！**

私たちは常に
監視しています。



ブルーギル



ブラックバス

★ブラックバス（オオクチバス・コクチバス）・ブルーギル等の特定外来魚の移植（密放流）は、外来生物法により禁止されています。

★違反した場合は3年以下の懲役又は300万円以下の罰金が科せられます。

詳しくは環境省ホームページをご覧ください。
徳山ダム

揖斐川水源地域夏休み親子研究ツアー

施 策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすく場としての活用
施 策 項 目：学習の場の提供
具体名施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る

主 催：揖斐川町、独立行政法人水資源機構中部支社

内 容：揖斐川下流域などの受益地に住む親子（小中学生）を対象にした、徳山民俗資料収蔵庫、横山ダム堤体内、徳山ダムなどの研究ツアーを実施（34名参加）

実施日：第1回・・・8月4日（土） 第2回・・・8月8日（水）



徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄旅行）

施 策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
施 策 項 目：観光振興
具体名施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る

内 容：徳山ダムを含む揖斐川水源地域の観光ツアー

実施日：4月25日～9月11日（18回開催566名が参加）



徳山ダム上流に実のなる木を植えよう作戦

施 策：広域で継続的な交流・連携の推進

施 策 項 目：活動を通じた上下流交流

具体名施策：植林や自然保護活動等による上下流交流を推進する

主 催：NPO法人揖斐自然環境レンジャー、揖斐川中部漁業協働組合

協 力：岐阜県、揖斐川町、独立行政法人水資源機構、徳山ダム建設関連工事施工業者連絡協議会

内 容：オニグルミ、クリ、コナラやトチなどの実のなる木を徳山ダム上流域へ植樹（40名程度参加）

実施日：11月4日（日）



徳山ダム見どころマップ

施 策：みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施 策 項 目：情報発信

具体名施策：保全・利活用に関する積極的な情報発信を行う

内 容：徳山ダム周辺の見どころを案内したパンフレットを作成、配付



資料 8

「揖斐川水源地域ビジョン」の呼称（取組の総称）について（案）

1 趣旨

「揖斐川水源地域ビジョン」については平成19年2月に策定されました。

これからは、策定されたビジョンに基づき、推進協議会の取組体制の整備に加え、広域の多くの主体の理解と協力を得ながら、実際の取組を実行に移す段階となります。

このような中で、このビジョンに基づき、目標像の実現に向け、今後、多くの人たちにPRし、具体のメニューを推進していくためには、ビジョンの内容を容易にイメージ出来て、親しみのある、簡潔な呼称（取組の総称）が必要と考えています。

2 呼称（取組の総称）案

（案1）

いのち 生命の水と森の物語

〔提案理由〕生命をはぐくむ日本一の水と森。この水と森は旧徳山村の住民の方々の尊い協力の上に徳山ダムが完成し、水源地域が保全されることに感謝し、その利活用方法を、各々で考え参加して欲しいとの思いを物語に例え、生命の水と森の物語と名付けた。

（案2）

しんそうすい 森創水・揖斐川徳山プロジェクト

〔提案理由〕水が森を創り、森が水を創ることから、森創水と名付け森と水の大切さを表現した。また、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域の保全と利活用を図るという観点から、揖斐川徳山プロジェクトとした。

（案3）

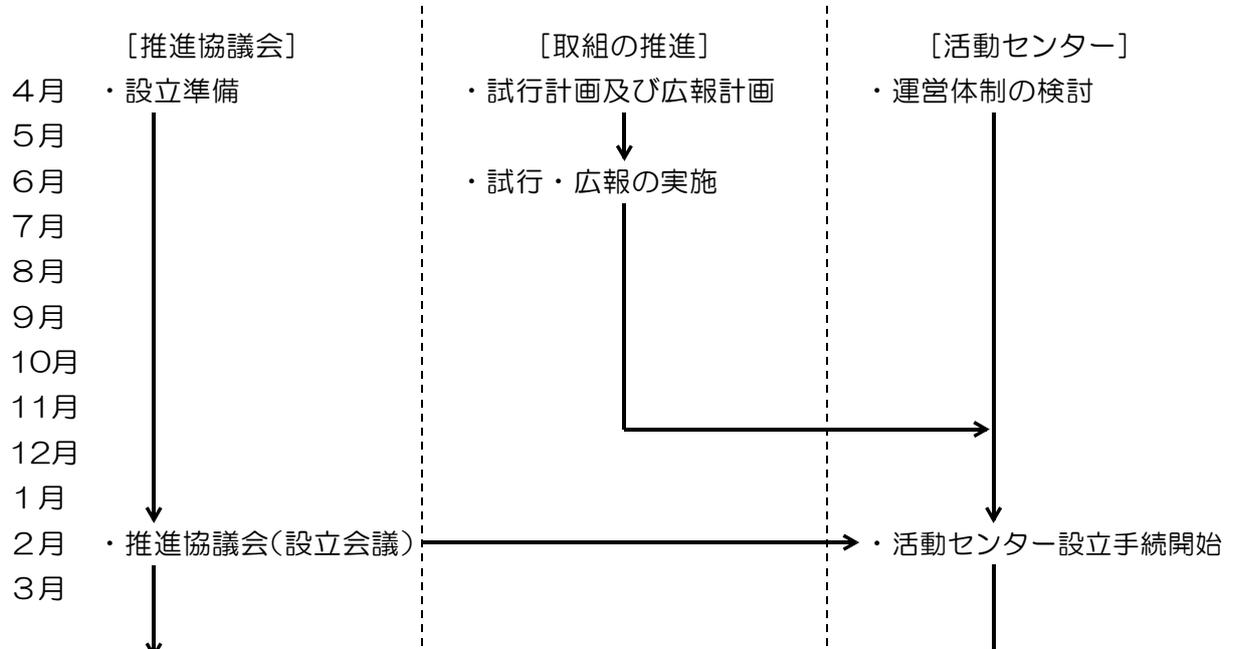
みんなで守り、学び、やすらぐ・徳山モデル

〔提案理由〕・ビジョンの推進（水源地域の保全と利活用）は「みんなで参加」が大切との思いを込めて名付けた。また、旧徳山村の人々への感謝の気持ちを込めて徳山の名称を使用し、他の模範となるようにとの思いを込めモデルとした。

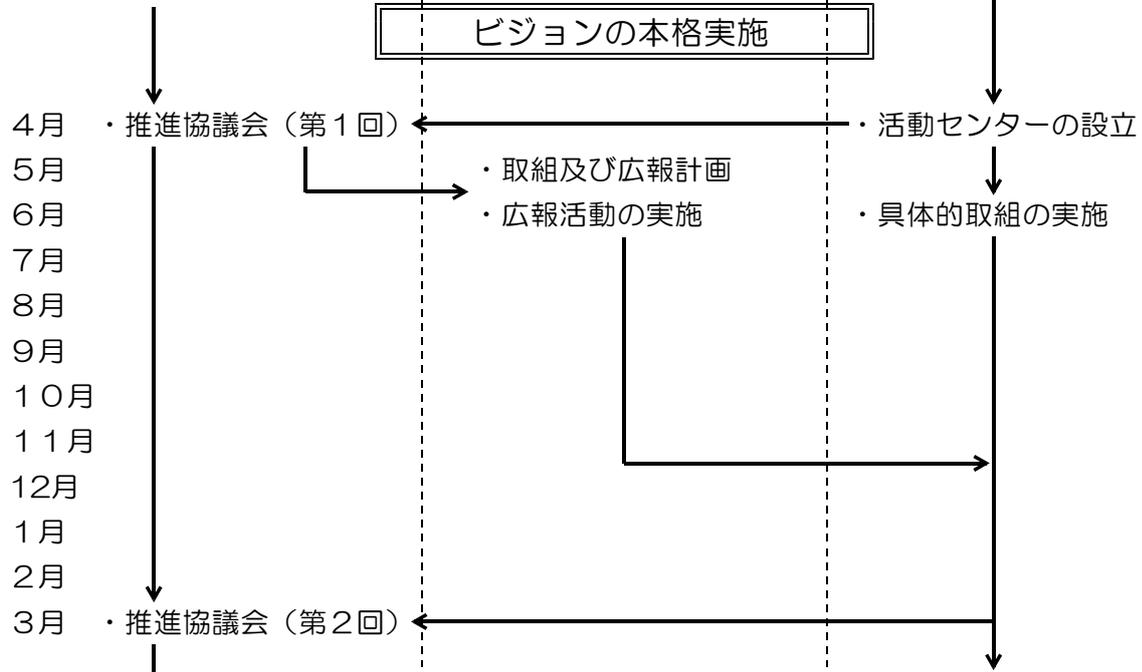
資料9

ビジョン推進にかかる今後のスケジュール（案）

【平成19年度】



【平成20年度】



【平成21年度】

・ 組織及び活動の充実